

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成27年12月10日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
P T A会長名	大窪 龍児

実施概要	実施活動名	学校祭
	実施日時	平成27年11月1日(日)
	実施場所	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
	実施目的	○日頃の学習成果の発表や出店等を通して、本校児童生徒と卒業生、保護者、地域の方、他校生との親睦を図る。 ○地域の方に対して、本校児童生徒への理解啓発を図る。
	実施内容	催し物鑑賞、各部によるゲームコーナーや喫茶コーナー・作業製品販売、福祉施設や他校による模擬店や卒業生によるカラオケコーナー等
	実施方法	ポスターやチラシを作成し、地域の方や福祉施設、交流校等に配布する。企画は、P T Aと学校が協力して行い、保護者や教職員の出店以外に、卒業生や福祉施設、交流校へも出店、運営の手伝いを要請する。交流校の生徒には、本校生徒と一緒に作業製品の販売やボランティアとしての活動も依頼する。
	参加人数	本校指導生徒、卒業生、保護者、福祉施設の方、他校生徒、地域の方、教職員O B・現職 約400人

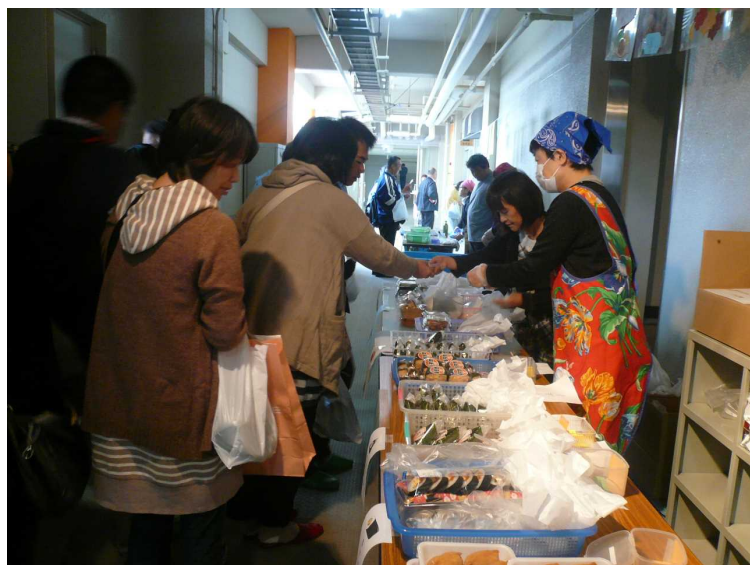
報告事項	内容	1 開会式・催し物鑑賞 開会式後、体育館で愛媛大学学生によるミニコンサートを実施した。本校での実習をきっかけにボランティアで演奏を引き受けてくれ、ピアノとフルートの独奏やソプラノ独唱等を披露してくれた。子どもたちが親しんでいる曲や人気の曲と一緒に歌うプログラムもあり、会場は盛り上がった。 2 イベントコーナー・バザー 卒業生によるカラオケコーナー、小学部や中学部によるゲームコーナーを開催した。ゲームは、児童生徒が心を込めて企画・製作したものである。「おでカフェ・ハッピー」は、地域の就労継続支援A型事業所の協力を得てカフェを開き、高等部の生徒が接客を行った。また、中学部・高等部の作業学習で製作した製品販売、P T Aによる未利用品等販売や食品販売、福祉施設による漬物販売や食品販売、教員O Bによるうどん販売などが行われた。 3 展示 各教室にて各部の紹介や児童生徒の作品展示を行い、児童生徒の学習や活動の成果を披露した。
	結果	手作りポスターを作成し、中学部・高等部で手分けをして地域に掲示した。その効果か、在校生の家族、教員O B、卒業生等学校関係者のほか、地域の方の参加も多数で、総勢400人に達した。例年開催していることにより、地域にも学校祭の取組が浸透している。作業製品販売や生徒によるゲームコーナーは特に人気があり、ほぼ完売した。催し物でのミニコンサートをはじめ、大学生がボランティアとして多く参加してくれ、児童生徒との関わりをもつことができた。 児童生徒は、来てくれた方に楽しんでもらおうと、学校祭までに各クラスで工夫してゲームの準備をした。当日は、一生懸命にルールを説明したり、盛り上げる言葉を掛けたり、手作りの景品を渡したりとたくさんのお客さんを相手に運営を積極的に行った。その姿に地域の方も保護者も笑顔であった。福祉事業所の販売コーナーも大盛況であった。販売には事業所で働く卒業生も加わり、卒業後のつながりも様々な場面でもつことができた。 おでカフェは行列ができるほどの人気で、気持ちのよい接客にお客さんからの好評を博した。
	所感	ゲームコーナーやカフェコーナーは、準備や接客練習に時間は要したが、お客さんが喜んで参加してくれている様子を見て、確実に子どもたちの自信につながった。また、参加してくれた地域の方や保護者には、全校児童生徒と関わることで、学校の取組や児童生徒の活躍の様子を理解する場となった。 卒業生の参加も多く、イベントや販売で活躍したり、教員等と再会する場となったりと同窓会のように楽しみの場となっており、つながりが途絶えずに確実に続いていくと感じた。 多くの方の協力によって開催することができた学校祭である。学校祭を成功させよう、盛り上げようという気持ちが一つになった行事であり、参加者が学校を理解するいい機会になった。



【野菜販売】



【作業製品販売】



【保護者による食品販売】



【卒業生や在校生によるカラオケ】



【高等部の活動紹介】



【中学部のゲームコーナー】



【小学部のゲームコーナー】



【おでカフェ・ハッピー】

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成27年12月10日	
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校	
学年	中学部1年	複数人

中1ゲームコーナー「ねらうんじゃー」(日記より)

わたしは、受付と進行係をしました。
おつりをわたすとき、きんちょうしたけど、
えがおでがんばりました。



ぼくは、景品係でお客様のとく点を書いたり、景
品をわたしたりしました。お客様にちゃんといい
言葉もいいました。きんちょうしましたが、
楽しかったです。



わたしは、とくてん係をし
ました。よくみてじしゃくを
おきました。まちがえず
できたので、うれし
かったです。

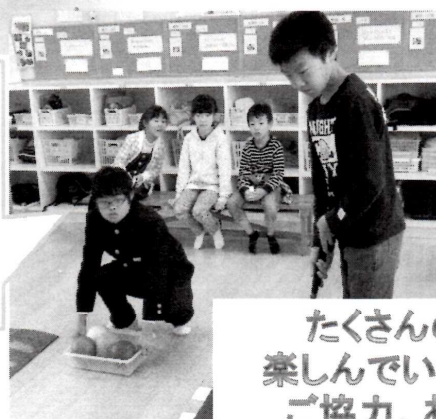


ぼくは、ボール係をし
ました。れんしゅうよりす
ぐにボールをあつめたり、
CDをつけたりしました。
大せいこうだともいま
す。



わたしは、進行係をがんばりました。
きんちょうしたけど、6人のときと3人
のときも進行係でした。たいへん
だったけど、おきゃくさんがたくさん来てう
れしかったです。

ぼくは、学校祭をがん
ばりました。ボール係
をしたので、とても
楽しかったです。
かっこよくできました。
中1のみなさんがんば
りました。



たくさんのお客さんにゲームを
楽しんでいただくことができました！
ご協力、ありがとうございました。

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成27年12月10日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- 今年度もたくさんの方に参加していただき、いい学校祭になりました。この学校祭は、子どもたちだけでなく、私たち保護者にとっても、たくさんの方と関われるいい機会になっています。卒業生の保護者やOBの先生方からも声を掛けていただき、近況報告もできてうれしい時間です。
- 子どもが、ゲームコーナーの進行をしているのを見て、成長したなと感じます。学校祭や地域との交流で、人と関わる機会を多く与えていただき感謝しています。その中で、一人一人の子どもたちが、少しずつでも確実に成長していると感じています。
- 子どもたちが作った作業製品を見て、いつも感動します。心がこもった作品だと思うと大切に使おうと思います。
- たくさんの方が来てくれて未利用品や食品を買ってくださるので、うれしく思っています。準備や当日の仕事と大変ですが、ほかの保護者の方と情報交換や話ができるので、楽しくできています。
- 小学部の保護者ですが、中学部や高等部のお兄さんお姉さんが活躍している様子を見て、自分もあんなふうになっていくんだという見通しがもてたり、お兄さんたちの立派な姿に憧れをもったりできていると思います。
- この学校祭は、地域の方たちにとっても恒例行事となっており、作業製品や野菜、花苗などを購入することを楽しみにしてくれているようです。今年もたくさん買ってくださいました。地域の方たちにも、この学校を知っていただくいい機会になっていると思います。
- 大学生のボランティアの方たちもたくさん来てくれて、頼もしく思います。大学生によるミニコンサートは、子どもたちがノリノリで、音楽っていいなと感じさせてくれました。
- 卒業生のカラオケコーナーをのぞかせてもらいました。楽しそうにしていたのが印象的でした。卒業しても、自分たちの学校だという気持ちをいつまでも持ち続けているんですね。
- 地域の者ですが、ミニコンサートに感動しました。いい学校祭だと思いました。
- 「おでカフェ・ハッピー」に行きました。生徒さんたちが、一生懸命に接客している様子に感動しました。今まで、たくさんたくさん練習したのだらうなと思うと、「上手ね」と自然に声を掛けたくくなりました。雰囲気の良いは、こういうところから感じるのでしょうか。
- 展示コーナーには、見た感想を書く「メッセージボード」がありました。見学された方の、温かいメッセージが書かれていて、子どもたちの励みになるだろうと思いました。ちょっとした工夫が随所に見られて温かみを感じる学校祭でした。
- 中学部の生徒さんたちが、自分たちが作ったゲームコーナーで、参加してくれた人たちを一生懸命に盛り上げていました。その様子が、とても印象的でした。